

作品タイトル…三途川耳舐メ冥界送り（仮）

メインヒロイン

◆死神 ナチ

・ドSな死神

・ダウナー口調

・少し幼めな印象

CV：君野りる様

キャラクターのイメージ

喋り方や、声の雰囲気・ささやき具合などは上記作品を参考にしていただけかと思えます。

◆おはなし

死人の魂を浄化するために死神がそれぞれ自由な方法で磨き上げる。

水で溺れさせたり、拷問器具で痛めつけられたり様々だ。

あなたは死神のナチのもと、魂を浄化されることになったのだがその方法はあなたの耳を舐め尽くすという異端なものだった。

死してなお煩惱を失わないあなたはナチの言葉の槍と甘美な舌遣いにグサグサと滅多刺しにされる。

果たしてあなたに安息の日は訪れるのだろうか。

「三途川下り

耳なめはいやらしい感じではなく、ごりごりと攻めるような感じをお願いします。

喋るときは無声音」 ∞ 割で少し有声音が混じるようなしゃべりかたでお願いします。

会話速度 全体的に1.0段階の2か3ぐらいでお願いします。

舟の上に浮かぶ音

正面20cm

おはようございます。

少女が自分の顔の正面にあり、あなたは驚く

私の名前はナチ。死神のナチ。

死者を冥界に送り届けるため この三途の川の渡し守をしています。

…見たところまだお若い方そうですね。

いかなる事情であったとしてもここへ来た以上、魂の番人であるわたしに逆らうことはできません…。

右前 15 c m

わかりますね？

あなたは私の言われるがまま、されるがままというわけです。

あなたの魂が浄化されるまであなたの自由は許しません。

一度だって許したことはない…。

せいぜい楽しい悲鳴を聞かせてくださいませ…。

だんだんゆっくり。寝かしつけるように。

だんだん右耳元へ

早速浄化を初めてまいります…。

お隣失礼しますよ…

耳舐めが前後にある部分は耳舐めしながら曖昧に喋ってください。

台本上ではちゃんとした表記で描いてはありますが、喋るときは崩してください

って大丈夫です。

（例耳を噛まれるのは苦手です。いらつしゃいますか？↓ みみをかまれるのは

にはへへいらつひやいましたか？

みたいな感じになると思います。

ただ全部やってしまうと意味がわからなくなる場合があるのである程度君野

りる様の裁量におまかせします

ここは大事だなと思う部分はユーザーに聞こえるよう丁寧に喋っていただけると。

しばらく右耳元でささやき

はあむ…あーむあむあむちゅるちゅるちゅる…あむあむあむ…れろれろれろ…。

これが私の編み出した魂の浄化法…。

あーむ…んちゅ…原始的ではありますが、これがもっとも確実に魂を清めることができるのです…。

あーむ。んん…あむあむあむ…れろれろれろれろ。

単語で区切ってるのは耳舐めしやすいように助詞を省いてます。

キャラであえて助詞を省いてそうしてるわけではないです。

脳 時間 かけじっくり刺激することで 何も考えられなくする。

じきにあらゆる業は消え 魂の穢れ 消える。

あむあむあむ…。れろれろれろろ…んちゅ・あむあむあむ。

耳 噛まれるの 苦手ですか？あむあむあむ…ん…あむあむあむ…ちゅるる…。

れおれろれろれろ…。

☞このあたりの設定などをちゃんと説明しようと頑張って発音すると

耳舐めの没頭感が削がれるので多少聞き取りづらくてもいいので曖昧に喋っ

てください。

ここ 時間の概念 ありません…。凍てついた時の空間…。あむあむあむあむあむ…。

あなたには 幾千幾万の時 感じるほど 気の遠くなるような時間。れろれろれろれ

ろ…

あむあむあむ…。んちゅ…。あむあむあむあむあむ…。

いい声で鳴かれる ですね…。

初めのうちが一番うれしい…。れろれろれろれ…。

あなたにとつても わたしにとつても…。

だって…。みんなこの刺激に耐えられず ちゅる…。声を上げてしまう。

あーむあむあむあむあむ…。あーむあむあむあむあむ。

ここ 虐められること 慣れてる人 ほとんどいません。

今まで受けたことのない 辱め 快感に 襲われる。

…。あむあむあむ…。れろれろれろれろれろれ…。

敏感な部分 弄り回され 恥辱で頬を赤らめる…。みんな 可愛く鳴く。

わたしはそれがみたい／

あなたも 泣いて。ほら

あーむあむあむあまむあむ…。ちゆるちゆる…。

(耳舐め20秒)

ああ…本当にいい声…あむあむあむ…いい顔 れろれろれろ…れろれろれろ…。愉

しい…はあ…はあ…。

あなたも 甘美な声 です… あむあむあむ…その…大変よろしい です…。

あむあむあむ…嬉しいです…れろれろれろ…いい声…。

そのまま 元気に鳴いて／＼ れろれろ…鳴き続けて…ほしい…。

ちゆるる…あむあむあむ…その方が 私もやり甲斐 あります から…。

あーむあむあむちゆるちゆるちゆる…鳴いて…れろれろれろ…そう…れろれろれ

ろれろ…。

れろれろ…もつと…あーむあむあむあむあむ…れろれろ…声 いい… あむあむあ

むあむあむ…

この方法の素晴らしいところ あむあむあむ…死んだって事実には狂乱せず 魂を鎮め

られること…。

あーむあむあむちゆるちゆるちゆる…あむあむあむ…あむあむあむ…。

…ただでさえ死んだのに、なおもいたい、つらい思い　しなくてはいけないなんて…可哀そうですよね。

あーむ　あーむ。れろれろれろ…。

私より　もっと乱暴で　残虐な死神　います…。あーむあむあむあむ…。

いたぶられるより　よっぽどマシでしょう？　あむあむあむあむあむ…。

あーむあむあむあむ…あーむあむあむあむ…。

いま私のこと　優しいっていいました？

あーむあむあむあむ…あむあむあむ…。そう思われるの　結構ですが　どうでしょうね

…。あーむ。あーむ。

魂に刻んだ色　じっくり剥がされていく　ちゆるちゆる…それって案外辛いものです

よ…。

己の存在　自分とは何か　れろれろ…れろれろ…それがだんだん　だんだんと　わからなくなっていくのですから…。

あーむあむあむあむれろれろれろ…。

じきにわかる時が来るでしょう…はー…。

あーむあむあむあむ…れろれろれろれろ…。

今は…まだいいですよ。あむあむあむあむあむ…気持ち良くなっていただいても…愉しんでいただいても…

れろれろれろろ…あなたの声が聞きたい。れろれろれろろ。可愛く鳴いて…//

(耳舐め 30秒)

だんだんDの本性が目覚めていくナチ

無感情に思えた彼女の感情が少しずつ豊かになっていくようすがわかるとい

いかもしれません。

…こんな耳だけ 執拗に犯されて どんな気持ち ですか…。あーむあむあむあむ。

どれほど永く、多くの魂を舐めてきた私でも、あなたの心まで 触れることはできない。

…あーむあむあむあむ…れろれろれろろ…。

舐めて・舐めて…舐め続けてきた…。魂を清めるため。あーむあむあむ…れおれろれろ
れろ…れろれろれろろ…。

でも…おかげで私は人が気持ちいいと感じる場所 すぐにわかる。そこを攻め続けるこ
とで喜びを見い出すようになるほど。れろれろれろろ…。

ここでしょ…ねえ…あーむあーむれろれろれろろ…ここが気持ちいいのですよね…
れろれろれろろ…。

ふふ…涙。

泣いていらっしゃるんですね…嬉しい…そんなに喜んでいただけて光栄です。

あなたみたいな人が来るから…私 やり甲斐があるんです。

//は頬が紅潮してたり、照れたり、恥ずかしくなったりする表現です。

れろれろれろろ…れろれろれろろ…。さあ もっと声を聞かせてください //

だんだん舐め方か、位置をズラしてください。

あーむあむあむあむちゅるる…ん…はあむ…れろれろれろろ。

あ、ここも 弱いんですね…れろれろれろろ…れろれろれろろ…。

では…ここ、こうされると どうですか…？じゅる…れおれおれおれお…。ああ、

ここも…れろれろ…れろれろれろれろ。

すごいです…あなた…弱くて可愛いくらい。あむあむあむあむあむ…

弱くても容赦はしません…

(耳攻め だんだん激しく)

言ったでしょう？これは魂の浄化だと。

安らぎを与えるためのものでもありません…れろれろれろろ…。

よほど高潔な魂出ない限り…こちらで安息など与えられない…。あむあむあむ…。

あなたの全ての業を消し去り、一切をゼロにするためのものですから。あむあむあむ

…だから…れろれろ…ご褒美などではありません…。

勘違いなされませんように…。

れろれろれろろ…れろれろれろろ…

…いずれあなたは、少しずつ思考ができない状態になります。

それまで愉しんでいいですよ…。れろろろ…少しの間だけ…ね。

れろれろれろろ…あーむあむあむあむ…。ちゅるる…。ん…

（耳舐めやわらかく優しめで）

TR2 被虐業ノ清メ

ドSなのにあえて優しい雰囲気演技してください。

反転 左耳もとへ ささやき

優しく温かい感じで

ほら…こっちのお耳も…

れろれろれろろ…れろれろれろろ…れろれろれろろ…。

ふふ…びくびくして…。あむあむ…あむあむ…こっちの方が感じやすいようです…。やり甲斐がありそう。

じゅるじゅるじゅる…れろれろれろろ…れろれろれろろ…。あむあむあむ…。

だんだんナチのSっ気が開花していきます。

声は淡々としているほうがいいです。

煽らない。

あーむあむあむあむ…れろれろれろ。ここも好きなのですね…。れろれろれろろ…。おや…私の太ももに何か硬いものがあたっているような気がします…。れろれろれろろ…。

嬉しそうに

快感と恥辱で涙を流しておられるというのに、こんなにされては
まるで ご褒美を与えているよう…。

れろれろれろろ…れろれろれろろ…れろれろれろろ。

どうして…？ どうしてここ こんなになってるんですか？

もしかして… 攻められるの好きなんですか？（歓喜）

あーむあむあむあむ…れろれろれろろ…。

イジメられるのとか…汚いものをみる目をされるのとか…好きなんですか。（歓喜）

変態ですね。

あえて優しく温かい声で

あーむ…あーむ。

豚…。そう　豚とよばれるのがふさわしい…

自分でそう思いますよね…。ね？

あーむあむあむあむ…。れろれろれろ…。気持ち悪いですよ？

れろれろれろ…。普通に…。気持ち悪いです　あなた。

れろれろれろろ…。れろれろれろろ…。れろれろれろろ…。

おや…。もつとなじってほしそうな顔していますね。れろれろれろろ…。れろれろれろれ

ろ…。

意地悪なことを言ってほしいんですよ？

ね？　隠さないでください…。あーむあーむ…。れろれろれろろ。

少しずつ息遣いが荒くなっていくナチ

ああ…。うなづいてらっしゃる…／

では、私も遠慮なく…。言わせていただきます。はあはあ…。

優しく

ねえ…。豚さん…。あまりこちら　見ないでもらえますか…。はあはあ　ほんと　気持ち悪

いですよ？　はあはあ…。あむあむ…

れろれろれろれお…。れろれろれろれろ…。

あなたのようなキモ豚の悲鳴　聞きながら　これからずーっと　舐め続けないとい
けないなんて…

本当　さいこ…いえ…最悪です。はあはあ…

あーむ…あーむ…れろれろれろろ…れろれろれろろ…れろれろれろろ。

ほら…私の脚に　ア・レ　あたってるって言ってるでしょ？

あえて優しく嬉しそうな声で

なのにどうして　さらに大きくしてるんですか…

豚さん???

恥ずかしいっていいながら、苛められるの　あむあむあむ…嬉しくてたまらないんでし

よ…？

だからここ　肥大していくの　あむあむあむ…止まらないのですよね…変態さん。

あむあむあむ…あむあむあむ…。ああ…気持ち悪い…あむあむあむ。気持ち悪いです…

はあ…はあ／＼

あなたのような被虐の業にまみれた魂　あむあむあむ…触れられるなんて…こんなう
れし…最低な日はありません…。

じゅるじゅるじゅる…れろれろれろろ…。ねえ豚さん…？

さつきから　　いったいどこ　　見てるんですか？

…人の胸元を見て…気持ち悪い豚…れろれろ…もっとお仕置きしますよ…。

さらに激しく舐める　　圧を強める

はーむ。れろれろれろれろれろれろれろれろ！

れろれろれろれろ！れろれろれろれろ！

死んでもだめなんです…。

死んでも直らないなんて　　手の施しようがないです。

れろれろれろれろ！

やはり…身体でわからせるしかない…

圧強めの耳なめ

じゅるじゅるじゅる…浄化されなさい。

れろれろれろれろっ！！れろれろれろれろれろれろれろ！

不本意ではありますが　　私がじっくり時間をかけ改心させてあげます…

れろれろれろれろ！れろれろれろれろ。

えっちな雰囲気になってOK

でもHになり過ぎないように注意です。

汚れた魂…じゅる…あーむあむあむあむ。ああ…煩惱の味／＼れろれろれろれろ…濃い

…れろれろれろれろ…おいしい…ちゅるちゅる…

（耳舐め たまに はあ、はあという息遣いをしたり 豚さん／＼と呼びかけてください）

あえてゆったり優しい声で

ねえ豚さん…なんでこんなに気持ち悪いんですか？はあはあ…あむあむあむ…。

膨らみ ぜんぜん…隠せていませんよ…あむあむあむあむあむあむ。ちゅるちゅる…。

謝って済む問題ではありません…。

初対面のわたし…しかも死神に欲情するなんて不謹慎です…。

あーむあむあむあむ…れろれろれろれろ…。

そんなつもりはないとおっしゃりますが、こうやってあなたの性器の状態を咎めると、

より興奮しているようですが？

優しく慰めるように舐めてあげてください。

ほんと…どーしようもない…あーむあむあむ。あーむあむあむあむ…。

だったら 離しますよ？ 私の太ももから…おちんちん…

なんですか…その顔…。

少し間を開けて

…なら ちゃんと言ってください。

ナチ様…私に慈悲をください。

私は汚れた魂のキモ豚です。と。

太もも当ててくださいと…。

ほら…早く。

…ふっ。

よくできました。

おねだりが上手なんですネ 豚さん…

わかりました。

仕事だから仕方ありません…ね。

嬉しそうに

はあ…はあ…ほらもつと、こつちに来てください。…お慈悲 あげますよ。

太ももの感触…感じながら…ほら…。

はーむ。あむ…あむ、ああ…自分から押し当ててくる…ああ…気持ち悪いなあ…。

これはもつとお仕置きしなきゃ…。

だんだん勢い・圧・速度を増していく

あーむあむあむあむ…れろれろれろれろ！れろれろれろれろ！

もつとほら…おいで…れろれろれろれろ…れろれろれろれろ。

…汚い部分あててごらん すりつけてごらん…情けない豚あ…。

れろれろれろれろ…おねだりしてください 豚さん 、はあ……声……ききたい はあ…
名前…呼んで…私の…ナチのことを呼んで…はあはあ…

あ…そう…呼んで…あむあむあむ…れろれろれろれろ そう…そうっ れろれろれろ
れろ…かわいい…あむあむあむ…れろれろれろれろ。

ほんと、豚さん だめだめ…れろれろれろれろれろれろ！しょうがない子です
…れろれろれろれろ！

あそこがあたって…押し付けて…喜んで…。

はあ…はあ…不潔で淀んだ魂…れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

お仕置が必要ですね…れろれろれろれろ…れろれろれろれろ！

だんだん激しく舐める

(耳舐め40秒 たまに豚さんと呼ぶ)

豚さん…豚さん…。

おやおや…気持ちよくなって…ますね…。

でも、寝てはだめですよ。死者に睡眠なんて必要ないんですから…。

24時間ずうーっと、魂の洗礼に専念してください。

もし眠ってしまったら…そのときは…。

あーむあむあむあむ。れろれろれろれろ…。

そのときに教えてあげます…。

大丈夫…悪いようには…するかもしれませんが…。

れろれろれろれろ…。ほら、豚さん休んでる暇などありませんよ…。

れろれろれろれろ…れおれおれおれおろ！れおれおれおれお！

（耳舐め 圧強め40秒）

TR3 入水耳舐め

水中で言葉責め

エコーをかけて左右から耳舐め＋ささやきで虐めます。

右耳もと ささやき

おはようございます。

あなたがしばらく目を覚まさないから…起こしてあげました。

ここは川の中…。業の深さに応じてその魂は深く沈んでいくのです…。

私がいいって言っていないのに、洗礼中に眠ってしまいましたね…豚さん。

だめだって言ったじゃないですか…勝手に寝たら。

沈んでいく、重みを感じるようなオノマトペ

正面から回ってだんだん左耳元へ

ブクブクブク…ブクブクブク…重くて苦しいですか？

正面から回ってだんだん右耳元へ

ブクブクブク…ブクブクブク…よかった…これでも気持ちいいって言われたらどうし

ようかと思っていたところです。

ブクブクブク…ブクブクブク…。

だんだん正面へ 5 c mぐらい

ああ…浮き上がろうと手を離さない方が良いですよ…。

もし私の手を離したら…二度と川底から這い上がることはできませんから…。

…地獄へ行きたいのでしたら別ですが…。

本来苦しませるといふのは私のやり方にそぐわないのですが…勘違いされても困りま

すので、

今のうちに釘を刺しておこうと思ひまして…。

だんだん右耳元へ

ご褒美ではないですからね…。

はあむ…あむあむあむ…あむあむあむ…あむあむあむ…れろれろれろ…。

れろれろれろれろれろ…。苦しい…気持ちいい…苦しい…気持ちいい…苦しい…

…何か 思い出しませんか？

れろれろれろれろれろ…れろれろれろれろれろ…。

喜び…苦しみ…希望と絶望…繰り返されていくのはまるで…

そう…生きるということ。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

あむあむあむ…弛みなくその2つの波が押し寄せて 引いて 流され…削られ…時には抗って…『あなた』の魂は創られた…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

死して記憶を失ったせいで もう米粒程度にしか感覚が残っていないでしょうが…

苦しみと喜びの波…。思い出せるでしょうか…。

優しく舐めてあげてください。

あむあむあむ…あむあむあむ…あむあむあむ…あむあむあむ…あむあむあむ…。

(耳舐め)

優しく語り掛ける

ようやく 死んだということがだんだん身に沁みてきたようですね。

切ないですか？ それとも…

失くしてスッキリしましたか？ あーむ。れろれろれろれろ…れろれろれろれろれ

ろ…。

…どんな思い出でも…失くしてしまうと少しは物悲しくなるものですかね…。

ちゅ…あーむ。あむあむあむ…あむあむあむ…。

…でも、関係ないです…。

あなたがどう思おうと 関係なく…あちらとお別れをさせるのが死神の役割なので…。

優しく

あむあむあむ…あむあむあむ…れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

深くて…冷たくて…重たい…。でも、温かい…柔らかい…優しい…あーむ。あむあむあむ…あむあむあむ…。

あなたにのしかかる全てを 甘んじて受け入れなさい…。 あーむあむあむあむ。あむあむあむ…あむあむあむ…。

そうすれば…自然と身体はラクになります。 じきに浮かんでいきますから…。れーろれろれろれろれろ…。

どんな災難も苦難も…全ては避けようがない…そうだったでしょ。

流れに身を委ねるしかない…。 ちから…ぬいて…あーむあむあむあむ。そう…。

ぶかぶかぶか…ぶかぶかぶか…ぶかぶかぶか…。

わかりますか…。 少しずつ…少しずつ…あなたの身体が浮いていくの…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろれろ。

あなたにできるのは…

自分にできることと、どうにもならないことを区別することだけだった…。

ちゅるる…れろれろれろれろ…。

世の中どうにもならないことのほうが多いのに、どうにかしようとするから自然と身体は沈んでしまう…。

あーむあむあむあむ。あむあむあむ…あむあむあむ…。

賢い人ほど、自分にできることを知っているんです…。

だから決して溺れたりしない…業が軽いから…水面に浮かぶほどに。

あーむあむあむあむ。れーろれろれろれろれろ…。

ぶかぶかぶか…ぶかぶかぶか…浮かぶ…浮かび上がる…ぶかぶかぶか…ぶかぶかぶか

…そう。楽に…力をぬいて楽に…。

ブクブクブク…ブクブクブク…沈む…沈みゆく…ブクブクブク…ブクブクブク…無力

な自分を責める心があるから。

ふたつの力があなたにかかる…。ちゅるちゅる…あーむあむあむあむ。あーむあむあむ

あむ。

安心して下さい…。あむあむあむ…あむあむあむ…。

だんだん右耳元へ

おおよその人はこのように沈むものです…。れろれろれろれろ…。

あなたもその例外ではなく理想の自分の姿との乖離に悩んでいた。れーろれろ。

重たい…重たいとその業に苦しんでおられたのでしょうか…。

あーむあむあむあむ。れーろ…れろれろれろれろ…。

よりよく生きたいと思うのは人間の性（さが）です…。

あむあむあむ…あむあむあむ…れろれろれろれろ…。

あなたが沈んでいくのは…それだけあなたが一生懸命生きていた証…。

あむあむあむ…あむあむあむ…れろれろれろれろ…。

はい。…お手をどうぞ。

ちゆるちゆる…あむあむあむ…あむあむあむ…あむあむあむ…あむあむあむ…。

豚さん…。わたしはあなたの味方にはなりません。

…あなたが泣こうが喚こうが、あなたの業…つまり人間性というものを失わせるだけです…。

あーむあむあむあむ。…あむあむあむ…あむあむあむ。

あなたが生まれてから身に着けた 善良な心 たとえば人を思いやる心、他人に対する
関心。

…そういうものも全て、持っていくことはできない…。

あむあむあむ…あむあむあむ…。

あなたがあなたでなくなる…怖いでしょうか？

…『少し』…ね。あむあむあむ…あむあむあむ…。

よしよし…。怯えなくて大丈夫です。

あむあむあむ…あむあむあむ…。あむあむあむ…れろれろれろれろ…。

よしよし…。よしよし…。れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

まだ少し…重たいかと思いますが…じきに浮かび上がるでしょう…。

あーむあむあむあむ。れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

安心してください…。

誰もあちらには何も持っていけないです…。

ちゅ…ん…あむあむあむ…あむあむあむ…れろれろれろれろ…。

手を握り返してごらんさい…。

そう…決して離さないように…。私が責任をもって…あなたを送り届けます…。

だから、あーむあむあむあむ。あなたの魂にもっと触れさせて…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…

(耳舐め)

TR4 薄レ往ク記憶ノ耳舐メ

耳舐めにより剥がされていく自我。

だんだん自分がわからなくなっていく。

切ない雰囲気を感じられるトラック

しばらくTR3から時間が経ってます。

舟の上です。

左耳元でのささやき

あーむあむあむあむ…あーむあむあむあむ…。

豚さん…豚さん…。あれからどれほどの時間が経ったんでしょうね…れろれろれろ…。

あーむあーむ。ちゅるちゅる…。舐めて舐めて…なめ尽くしてきました。

…もう精根尽き果てて…こんなに密着しても元気にすることもなくなりました…。あむ

あむあむ…。

私がどんなになじっても、どんな冷たい眼差しを向けても、喜んでくれなくなりました

…。れろれろれろろ…れろれろれろろ…。

少し寂しいです…。あーむ…あむあむあむ…れろれろれろ…。

でも、あなたにとつてはきつと喜ばしいこと…のはず。あむあむあむ…あむあむあむ…。

余計な業を背負うから舟は重たくなる。れーろれろれろれろ…。れろれろれろれろ

…。

三途の川をわたり切る前に溺れ 沈んでいくのです…。

寂しそうに。

よかった…。これで無事にあなたの魂を無事向こうに送り届けることができますね…。

れーろれろれろれろ…れろれろれろれろ。

ん…。なんですか…この手は。頭、触って…。撫でて。

…ありがとうございます？

…そう…ですか。

お礼を言われたのはどれほど久しいことでしょうか…。思い出せません。

あーむあーむ…あむあむあむ…。

でも、何もありがたがる必要はありませんよ。

あなたの業を精算するのが私の仕事なんですから…れろれろれろれろ…。れろれろれろ。

人の人間性を奪うことしかできません…。

早くならないように注意してください

ふふ…豚に憐れまれるなんて…最大の侮辱です…やめていただきたい。

あーむあーむ…。れろれろれろろ…。

辛くはないです。平気です…。あむあむあむ…。

ただ…いろんな方がいるんだなあって思います。れろれろれろろ…。れろれろれろろ…。

あつさり記憶を棄てる人もいれば、大切な人との思い出を守るために必死に抵抗する人もいました。

あなたはどちらかというと、前者なんですかね…。あーむあーむ…私のことを思いやってる余裕がある人。

そんな人いたかもしれないし…。どうだったでしょう…思い出せない…。

あーむあーむれろれろれろろ…れろれろれろろ…。

どのような理由であなたがここにいらしたか、今のあなたが知る由もないでしょうが、かの世に未練を残さず、自分が死んだなどと簡単に割り切れるものではありません。あーむ…あむあむあむ…。

誰でもやりたいことのひとつやふたつ…あるものですからね…。あむあむあむ…あむあむあむ…。

たとえば…そう。好きな女の子に自分の気持ちを伝えたかった…なんてこと。あーむあむあむあむ…れろれろれろ…。

おや…誰かの顔が頭によぎりましたか？

珍しい。己の被虐の業が失われたのに、他者のことを覚えておいでなのですね。あーむ。

あむあむあむ…あむあむあむ…。

そういうの…すごく良いと思います。

あーむあーむ…れろれろれろ…れろれろれろ。

そうですか…言えなかったんですね…あなたも。

好きで、好きでたまらないのに、来る日も、大切な想い人のことを考えてしまうのに…

だからこそ言えない…気持ちを伝えられない。

あーむあーむ…あーむあむあむちゅるちゅるちゅる。れろれろれろ…。

いつか、いつの日にか自分の気持ちを伝えようと思うけれど、今の自分には大切な人に釣り合うにはなにかが欠けているような気がする。

あーむあーむ。れろれろれろ…。

ええ…わかりますよ…。あーむ。あーむ。

あなたは人のことを思いやるがあまり、自分にとっての最善を我慢してしまうのでしょう…。

おそらくそれこそがあなたの最大の業でしょう…あーむあーむ。あーむ。

恐らく私が最期に奪わなければならないあなたの業…それは…やさしさ…。

魂の輝き…。あむあむあむあむあむ…全部…いただきます。

れおれろれろれろ…れろれろれろ…。

（耳舐め）

だんだん右耳元へ

あなたには 恥ずかしい人 恥ずべきことの違いがわかりますか？

あーむ。あーむ。

失敗・敗北・貧乏・不細工。

生きていればありとあらゆる現実があなたに劣等性を突きつけてくる。ちゅるる・あーむ。

恋愛における失恋はいわばそのうちの最たるものといえるでしょ…。あむあむあむ…れろれろれろ…。

でも、それらは決して恥ずべきことではなかった…。

冷静に考えればあなただっただけでわかっていたはず。

あーむ。あーむ。んちゅ…。

大丈夫ですよ。

あなたは何も恥ずべきことはしていなかった…。

魂の味からわかりますよ…。あーむ。れろれろれろ…。れろれろれろ…。

人を騙して儲けたり、見栄を張るために嘘を重ねたり、友人を裏切ったり、弱いものを力で押さえつけたり…

恥ずべき生き方をしてしまう人間の多いこと…。

もしあなたがそうであれば三途の川の深くに沈んでいたことでしょう。

よかったですね…浮かんでこれて…。

あーむ。れろれろれろ…。れろれろれろ…。あむあむあむ…。あむあむあむ…。

(耳舐め30秒)

…豚さんはただの被虐的な変態の恥ずかしい人ですよ。くす…。

どんな人間にも必ず業は存在するんです。

あなたは恥ずべき生き方をしてこなかっただけで、清廉潔白な色をしていたわけではありません…。

嘘をついたり、ないものをねだったり、他人を恨んだり…そういうものと無縁でいられる人などいませんから…。

あーむ。れろれろれろ…。れろれろれろ…。

きれいな色…醜い色…惹かれる色…切ない色…様々な色の魂を見て来ました。

私達死神からすれば、どうしても比較してしまうのですが、

ここ3行は耳舐めを外してはつきりと喋ってください。

でもあなたたちにとって魂とは誰とも比較するものではないでしょう。

あなたが死ぬ間際に見た一瞬の輝き。それがあなたの全てです。

その輝きを見るために皆、自己研鑽に励むのですから…。

れーおれろれろれろ…。あーむ…れろれろれろ…。

さあ…そろそろ終焉の時間です…。

目を閉じて…力を抜いてください。

そう…あーむあーむ…れろれろれろ…。

心地いいですか…？ あーむあーむ…れろれろれろ…。

お別れのときが近いです。

あむあむあむ…あむあむあむ…れろれろれろ…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

